

＜アドバンスセミナー2＞業務を担当して5～6年の方を対象とした内容です  
2024年1月31日（水）14：00-15：30 オンライン配信/Zoom ウェビナー  
” 「栄養機能食品」と病者向けの「特別用途食品」について”

（当協会 栄養食品部 駒橋玲子）

「栄養機能食品」制度は、企業による自己認証制度です。行政への届出等がないため、トクホや機能性表示食品と比較して、容易に製品の用途表示が可能となります。

疾患等に起因するような食品表示は、生活者にも関心の高い分野と思います。最近、トクホ制度における疾病リスク低減表示が注目されておりますが、食品において唯一「病者向け」を表示できる制度があるのをご存知ですか？それが「特別用途食品」制度です。

当協会は本制度における「病者向け」表示の拡充に取り組んでおり、製品開発に応用できるトピックをお伝えします。

詳細・お申込みはこちら <https://www.jhnfa.org/topic459.pdf>

## 健康食品等に関する

### 日本語記事情報（2023年12月号 No.1）

本文書では、インターネットの日本語記事情報から、（公財）日本健康・栄養食品協会 学術情報部が独自の視点で皆様の事業遂行に役立つと判断したものをご紹介します。

（例：法令・行政情報、新製品・新分野の製品の企画開発及び研究開発のお役立ち情報、安全性確保の取組みに活用出来る情報、その他ビジネス環境変化に係る情報等）

**なお、記事の内容の正確性を当協会が保証するものではありません。また、特定の企業、食品素材・成分、製品などの情報が含まれる場合においても、当協会が支援・推進・推奨するものではありません。**

○ **記事のカテゴリー**（見出しをクリックすると該当カテゴリーに移動します）

[ピックアップ情報](#)

[安全性関連情報](#)

[表示、販売等に関する行政機関のアクション情報等](#)

[行政・法令関連情報（その他）](#)

[海外公的機関情報](#)

[市場予測、動向（食品・健康食品全般）](#)

[具体的健康ニーズ・素材・成分、製品情報（市場予測・動向等）](#)

[市場・企業動向、注目ビジネス情報](#)

[消費者意識等の調査・分析](#)

[食品・食品成分の生理機能、健康関連科学情報](#)

[その他の食品関連科学・技術情報](#)

[その他の科学・技術情報](#)

[その他](#)

記事によっては短期間でリンク切れになるものがあります。その点ご了承ください。

## ○ 記事一覧

基本情報（記事見出し、出典・日付、URL）、冒頭文または記事のポイントとなる部分（民間の情報源には了承を得た上で転載）を表示しております。なお、基本情報のみで記事内容の把握が可能と思われる場合は基本情報のみとしております。

## ■ ピックアップ情報

スルーして頂きたい記事情報を、編者の見識・感性（多少の思い入れ）に基づきピックアップしたセクションとご理解下さい。

「錠剤、カプセル剤等食品の原材料の安全性に関する自主点検及び製品設計に関する指針（ガイドライン）（案）」及び「錠剤、カプセル剤等食品の製造管理及び品質管理（GMP）に関する指針（ガイドライン）（案）」に関する御意見の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2023/11/21

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495230249&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495230249&Mode=0)

意見公募要領

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/PcmFileDownload?seqNo=0000263140>

概要 <https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/PcmFileDownload?seqNo=0000263141>

別紙 <https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/PcmFileDownload?seqNo=0000263142>

食事・栄養インターネット情報、日本は著者・参考文献明記なし／広告あり傾向－東大

QLifePro 医療ニュース - 2023/11/21

<https://www.qlifepro.com/news/20231121/web-based-content-on-diet-and-nutrition.html>

▼関連リンク・東京大学 プレスリリース

<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400226669.pdf>

ネット情報の信頼性実態、科学的な方法論で記述した研究はなかった

東京大学は11月14日、日本語で書かれた、食事と栄養に関するオンライン情報の多くは、編者や著者を明記していない、広告を含んでいる、参考文献がないという問題があるこ

とを明らかにしたと発表した。この研究は、同大学院医学系研究科の村上健太郎教授、篠崎奈々特任助教、奥原剛准教授らの研究グループによるもの。研究成果は、「JMIR Formative Research」に掲載され-----

## ■ 安全性関連情報

### [BfR]オメガ-3 脂肪酸サプリメントは心臓病患者の心房細動リスクを増大させる可能性がある

食品安全情報 blog2 - 2023/11/29

<https://uneyama.hatenablog.com/entry/2023/11/29/173831>

**11月29日分の2番目の太字見出し。**

### 令和5年11月20日新開発食品評価調査会及び「指定成分等含有食品等との関連が疑われる健康被害情報への対応ワーキンググループ」（第7回）資料

厚生労働省 - 2023/11/17 [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_36376.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36376.html)

### 令和5年7月3日指定成分等含有食品等との関連が疑われる健康被害情報への対応ワーキンググループ（第6回）議事録

厚生労働省 - 2023/11/15 [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_34045.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34045.html)

### 2023/11/15 付けの食品安全情報 blog2 から 5 件ご紹介します。

<https://uneyama.hatenablog.com/entry/2023/11/15/153932>

**以下の3件は、2023/11/15 付けの食品安全情報 blog2 の最初の太字見出し”[EFSA]意見等”の項目です。**

-ナノファイバーのハザード評価のための NAMs に関する EFSA のパイロットプロジェクト

-新規食品としての 2'-フコシルラクトース(2'-FL)の使用拡大の安全性

-アスタキサンチンを含む *Haematococcus pluvialis* 由来新規食品オレオレジンの規格の変更の安全性

こちらは上から 3 番目の太字見出し

[FAO/WHO]魚類摂取のリスクと利益に関する FAO/WHO 合同専門家会議

こちらは最後の太字見出し”その他 “の項目。超加工食品とがんや心代謝疾患リスクとの関連を調べた研究 ([https://www.thelancet.com/journals/lanepi/article/PIIS2666-7762\(23\)00190-4/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lanepi/article/PIIS2666-7762(23)00190-4/fulltext) ) に対する専門家の見解で、全体的に批判的な論調です。英文記事情報 12 月号 No.1 では、上記研究と共に超加工食品と頭頸部がんや食道腺がんとのリスクを評価した別研究 (<https://link.springer.com/article/10.1007/s00394-023-03270-1> ) をご紹介しております。両者は別研究とは言え、共に大規模疫学研究 EPIC のデータが活用されており、国際がん研究機関も参加しています。

-SMC UK

超加工食品摂取とがんと心代謝疾患の複数疾患罹患リスクを調べた研究への専門家の反応

2023/11/20 付けの食品安全情報 blog2 から 2 件ご紹介します。

<https://uneyama.hatenablog.com/entry/2023/11/20/165601>

上から 1/3 の太字見出し[EFSA]意見等の中にある項目

-新規食品としての E. coli W (ATCC 9637)の派生株(Escherichia coli SGR5)が生産した 2' -フコシルラクトース(2' -FL)の安全性

-葉酸塩の耐容上限摂取量に関する科学的意見

食品安全情報（化学物質）No.24 (2023.11.22)

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324c.pdf>

別添 <http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324ca.pdf>

全リスト

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>

[記事のカテゴリーに戻る](#)

## ■ 海外公的機関情報

EU 森林破壊防止規制まで 1 年、対象はパーム油など 7 品目

株式会社オルタナ/オルタナオンライン - 2023/12/1 <https://www.alterna.co.jp/106894/>

(無断転載を禁じます)

記事のポイント

1. EUDR（欧州森林破壊防止規制）の適用開始が、2024年12月に迫る
2. 同規制は森林破壊リスクがある製品のEUへの輸入・販売を禁止する
3. 対象は大豆、パーム油など7品目、これらを原料にしたタイヤなども入る

-----

## タイで天然着色料クチナシ黄が使用可能に（タイ）

日本貿易振興機構（ジェトロ） - 2023/11/28

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/11/c8a35ebd24b45090.html>

以下の4件は、**食品安全委員会 食品安全総合情報システム**

**(<https://www.fsc.go.jp/fsciis/>) の更新情報 (2023/11/21 確認) の中から、気になったものを選定しました。**

**見出しのクリックで内容をご覧頂けます。**

1. [国際連合食糧農業機関\(FAO\)、魚の摂取のリスク及びベネフィットに関するFAO/世界保健機関\(WHO\)合同専門家協議のサマリー及び結論を公表](#)
5. [ドイツ連邦リスク評価研究所\(BfR\)、人工甘味料に関する消費者モニター調査の結果を公表](#)
21. [国際連合食糧農業機関\(FAO\)、食物アレルギーのリスク評価に関するFAO/世界保健機関\(WHO\)合同専門家会議 PART5「特定のナッツ類\(ブラジルナッツ、マカダミアナッツ又はクイーンズランドナッツ、松の実\)、ダイズ、セロリ、ルパン豆、マスタード、ソバ、えん麦の閾値レベルのレビュー及び設定」の会議報告書を公表](#)
27. [ドイツ連邦リスク評価研究所\(BfR\)、魚介類について、アレルギー源となる可能性のある物質の微量検出の改善に関する情報を公表](#)

[記事のカテゴリーに戻る](#)

## ■ 表示、販売等に関する行政機関のアクション情報等

今回は特に見当たりませんでした。

## ■ 行政・法令関連情報（その他）

今回は特に見当たりませんでした。

## ■ 市場予測、動向（食品・健康食品全般）

今回は特に見当たりませんでした。

## ■ 具体的健康ニーズ・素材・成分、製品情報 （市場予測・動向等）

### ウコン】ひざサポート、疲労感軽減など、新たな機能性表示食品も続々 市場はV字回復、250億円

健康メディア.com - 2023/11/21

[https://www.kenko-media.com/health\\_idst/archives/18360](https://www.kenko-media.com/health_idst/archives/18360)

アルコール・二日酔い・肝機能対策の大型素材として一大市場を形成してきたウコン。コロナ禍における外食・飲酒機会の減少は市場に大きなダメージを与えたが、2022年に入り、回復基調に。市場の中核を担うドリンク製品は、コロナ前の8割程度まで回復した。一方で、ウコンの新たな市場開拓が急速に進んでいる。関節・ひざサポート、記憶力・注意力の維持、（起床時の）疲労感軽減などの領域では、機能性表示食品が続々受理されており、原料サプライヤーでは、吸収性向上、クルクミン高含有品などのハイグレード原料の開発を進めつつ、新たなユーザー獲得を狙う。アルコール対策素材としての市場、海外で最もポピュラーなウコンの機能性である抗炎症作用を介した美容・関節痛対策素材としての市場、その両建てが-----

## ■ 市場・企業動向、注目ビジネス情報

### 従業員の眠りを変える「ネスレ ヘルスサイエンス睡眠プログラム with Fitbit」 ネスレ ヘルスサイエンスとグーグルが共に進める睡眠課題解決への一歩

ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー - 2023/11/17

[https://www.nestle.co.jp/media/pressreleases/20231117\\_nestlehealthscience](https://www.nestle.co.jp/media/pressreleases/20231117_nestlehealthscience)

ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー（本社：兵庫県神戸市、カンパニープレジデント：中島 昭広、以下「ネスレ ヘルスサイエンス」）は、グーグル合同会社（以下「グーグル」）と協力し、2023年11月15日（水）に、企業や医療機関の健康経営をサポートすることを目指し、「ネスレ ヘルスサイエンス睡眠プログラム with Fitbit」を発表しました。ネスレ ヘルスサイエンスは、アメリカのサプリメント「Pure

Encapsulations GABA（ピュア エンキャプレーションズ ギャバ）」を販売しており、このたび、新たに「機能性表示食品」の届出が受理され、リニューアル販売予定です。睡眠を可視化するグーグルのウェアブルデバイス Fitbit と、睡眠トレーニングを組み合わせたプログラム提案により、従業員の睡眠の質（寝つき、すっきりとした目覚め、一時的なストレスを感じている方の眠りの深さ）を向上させることを目指します。-----

## 「鬼教官」から「愛される存在」へ 花王「ヘルシア」リブランディングの理由

AdverTimes.（アドタイ） by 宣伝会議 - 2023/11/17

<https://www.advertimes.com/20231117/article440128/>

花王の飲料ブランド「ヘルシア」が発売 20 周年を迎え、パッケージの刷新をはじめとするリブランディングを開始した。

2003 年に発売開始した「ヘルシア緑茶」の名前の由来は、“ヘルシーをアシストする”。花王唯一の飲料ブランドとして、機能訴求を中心としたマーケティング戦略で展開してきた。

ヘルシアのブランドマネージャーを務める花王 ライフケア事業部門ヘルス&ウェルネス事業部の柳田雄一氏は、今回のリブランディングの経緯についてこう話-----

## ウェルナス、住友商事に対し「AI 食」技術の事業化に向けた調査業務を開始 個別栄養最適食「AI 食」の特許技術と蓄積データを活用した、食と栄養のパersonライズ化に向けて

株式会社ウェルナス - 2023/11/21

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000029.000062426.html>

「食」で未来の健康社会実現を目指す株式会社ウェルナス（所在地：東京都杉並区 / 代表取締役：小山正浩、以下「ウェルナス」）は、住友商事株式会社（本社：東京都千代田区 / 代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭誠之、以下「住友商事」）より、個別栄養最適食「AI 食」の特許技術・蓄積データを用いたビジネスモデルの具体化に向けた調査業務を受託いたしました。ウェルナスの有する技術と蓄積データが幅広い業界において活用できる可能性を探求し、未来の健康社会実現を目指します。

住友商事では、消費者に近い商品、サービスを提供する事業を先進テクノロジーも活用しながらグローバルで展開し、新たな価値およびライフスタイルを創造することにより、快適で心躍る暮らしの基盤づくりに貢献することを目指しております。本件はその取組みの一環となり-----

## 森永乳業のビフィズス菌 BB536 入りヨーグルトの摂取による腸内環境の変化に関する「神戸実証研究」を(株)メタジェンと共同で開始

～ “腸内環境と若さ” をテーマに大阪・関西万博の「共創チャレンジ」として登録～

森永乳業株式会社 - 2023/11/21

<https://www.morinagamilk.co.jp/release/newsentry-4324.html>

森永乳業株式会社（本社：東京都港区、社長：大貫 陽一）は長年にわたり、ヒトの腸内にすみ、様々な健康効果をもたらしていると考えられているビフィズス菌の基礎研究を行っております。この度、当社は株式会社メタジェン（本社：山形県鶴岡市、代表取締役社長 CEO：福田 真嗣）と共同で、当社のビフィズス菌 BB536 入りヨーグルト摂取による腸内細菌叢と腸内代謝物質の変化に関する研究を「神戸実証研究」として開始しました。

また、本実証研究を含む「腸からつくるウェルビーイング」をテーマとした活動が、2025年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）の「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ（以下、「共創チャレンジ」）に登録されたことをお知らせ……

## 【販促・営業支援】AI 活用、顧客戦略立案など健食通販で進化 コールセンターの活用にビジネスチャンス

健康メディア.com - 2023/11/2 [https://www.kenko-media.com/health\\_idst/archives/18350](https://www.kenko-media.com/health_idst/archives/18350)

健食通販において事業者と顧客を繋ぐコールセンターの活用が注目されている。事業者側では、チャットボットや、RPA（Robotic Process Automation）などの自動化ツール、オムニチャネル対応を実現するコンタクトセンター基盤システムなど、販促・営業支援とともに人手不足の解消にも寄与する IT ソリューションの採用が増加。AI の活用で、対応品質の向上とともに、コール量や放棄呼率などの低減に繋げるケースも。健食通販向けに、製造業×物流支援×コールセンター運営などを掛け合わせ、新たなビジネスチャンスに繋げる提案も……

[記事のカテゴリーに戻る](#)

## **■ 消費者意識等の調査・分析**

### エステー、「睡眠習慣やリズム」に関する実態調査、平日／休日の就寝・起床リズムのズレで起きる「睡眠時差ボケ」も

マイライフニュース - 2023/11/21 <https://www.mylifenews.net/health-medical/36176/>

エステーは、睡眠習慣や就寝・起床リズムの実態を明らかにするため、20～49 歳までの男女 417 人を対象に「睡眠習慣やリズム」に関する実態調査を実施した。その結果、20 代女性が最大、平均 1.7 時間のズレがあり、平日／休日の就寝・起床リズムのズレで起きる



「睡眠時差ボケ」もみられた。また、約 5 人に 1 人が「休日の寝だめ」をしており、「だらだらスマホ」は半数以上、「休日・在宅勤務前日の夜更かし」も約 3 割が習慣化していることが明らかと-----

## ヤクルト、不調やストレスと睡眠の健康意識調査、不調を感じる人はストレスも感じやすく睡眠悩みも増える傾向に

マイライフニュース - 2023/11/22 <https://www.mylifenews.net/health-medical/36366/>

ヤクルト本社は、全国の 10 代～60 代の男女 8400 人を対象に、季節の変わり目の「不調」や「ストレス」と「睡眠」の関係について「不調やストレスと睡眠の健康意識調査」を行った。調査の結果、不調を感じる人はストレスも感じやすく、ストレスを感じる人ほど睡眠悩みも増える傾向にあることがわかつ----

ー11 月 26 日は鉄分の日ー

## 現代女性の鉄分に関する意識調査で判明！ 20 代から 40 代は貧血や隠れ貧血に気付かず 体調不良に悩んでいる可能性が

株式会社ファンケル - 2023/11/22

[https://www.fancl.jp/news/20230103/news\\_20230103.html](https://www.fancl.jp/news/20230103/news_20230103.html)

株式会社ファンケルは、2023 年 10 月 16 日（月）と 10 月 17 日（火）で、国内の 18 歳から 69 歳までの女性 1,000 人を対象に「貧血や鉄分不足に関する調査」を実施しましたので、その結果をお知らせ-----

[記事のカテゴリ](#)に戻る

## ■ 食品・食品成分の生理機能、健康関連科学情報

### 妊娠中の母親のビタミン D 摂取量が、3 歳時の子どものアレルギー疾患と関連－富山大

QLifePro 医療ニュース - 2023/11/17

<https://www qlifepro.com/news/20231117/vitamin-d-allergy.html>

▼関連リンク・富山大学 プレスリリース

<https://www.u-toyama.ac.jp/wp/wp-content/uploads/20231114.pdf>

意見が分かれる「妊娠中のビタミン D 摂取量と子のアレルギー疾患との関係」について調査

富山大学は11月14日、「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」に参加する母児を調査した結果、妊娠中の食事からのビタミンD摂取量が子どもの3歳時点のアレルギー疾患と関連することを明らかにしたと発表した。この研究は、同大学術研究部医学系 小児科学講座の清水宗之（現・新潟県厚生農業協同組合連合会糸魚川総合病院小児科医長）らの研究グループによるもの。研究成果は、「International Archives of Allergy and Immunology」にオンライン掲載されて-----

## 子宮頸がん、ナスから発見された天然化合物による抗腫瘍効果を確認— 名大

QLifePro 医療ニュース - 2023/11/21

<https://www qlifepro.com/news/20231121/9-oxo-odas.html>

▼関連リンク・名古屋大学 研究成果発信サイト

<https://www.nagoya-u.ac.jp/researchinfo/result/2023/11/post-589.html>

### ナスのヘタに含まれる「9-oxo-ODAs」の子宮頸がんに対する効果を検証

名古屋大学は11月16日、ナスのヘタに含まれる天然化合物「9-oxo-octadecadienoic acid (9-oxo-ODAs)」が、子宮頸がん細胞に対して抗腫瘍効果をもたらすことを報告したと発表した。この研究は、同大大学院医学系研究科産婦人科学の茂木一将大学院生、吉原雅人病院助教、梶山広明教授、同ベルリサーチセンターの小屋美博博士、那波明宏教授らの研究グループによるもの。研究成果は、「Scientific Reports」に掲載され-----

## 食物アレルギー、ケストース+イヌリンで発症予防の可能性—藤田医科大 大ほか

QLifePro 医療ニュース - 2023/11/24

<https://www qlifepro.com/news/20231124/food-allergy-prevention.html>

▼関連リンク・藤田医科大学 プレスリリース

<https://www.fujita-hu.ac.jp/news/j93sdv000000p3n7.html>

### 腸内環境改善のプレバイオティクス、多種多様な疾患に効果の可能性

藤田医科大学は11月20日、プレバイオティクスを用いた食物アレルギー予防に関する研究成果を発表した。この研究は、同大消化器内科学講座、医科プレ・プロバイオティクス学講座、ウェルネオシュガー株式会社、帝人株式会社の研究グループによるもの。研究成果は、「BMC Microbiology」オンライン版に掲載されて-----

## サルコペニアのメカニズム解明、Fyn タンパク質がオートファジー活性 を抑制—群大

QLifePro 医療ニュース - 2023/11/30

<https://www qlifepro.com/news/20231130/sarcopenia-fyn.html>

▼関連リンク・群馬大学 プレスリリース

<https://www.gunma-u.ac.jp/information/170020>

### **サルコペニアが起こる原因は不明点が多く、治療薬も存在しない**

群馬大学は 11 月 24 日、培養した筋肉細胞やマウスを用いた実験により、チロシンキナーゼの一つである Fyn というタンパク質（以下、Fyn）が筋肉の量を調整しているメカニズムを明らかにしたと発表した。この研究は、同大大学院医学系研究科の内分泌代謝内科学分野と整形外科学分野の共同研究によるもの。研究成果は、「iScience」に掲載され……

### **花王とキリンの共同研究で、内臓脂肪と免疫活性に関する日本初の発見**

～内臓脂肪が多いと pDC 活性が低いこと、内臓脂肪が多く pDC 活性が低い人は、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの罹患リスクが高いことを日本で初めて確認～

花王株式会社 - 2023/11/24

<https://www.kao.com/jp/newsroom/news/release/2023/20231124-001/>

### **妊娠中のオメガ 3 系脂肪酸摂取が、産後のメンタルヘルス維持に重要** **麻布大学**

大学ジャーナルオンライン - 2023/11/20 <https://univ-journal.jp/235726/>

麻布大学、独立行政法人地域医療機能推進機構 相模野病院、太田油脂株式会社の研究により、妊娠中に  $\alpha$ -リノレン酸を摂取することで産後のメンタルヘルスを安定させる効果がある可能性が明らかと……

### **加齢により筋肉が萎縮し固くなる根本的な原因を解明 若返りも視野に** **九大**

財経新聞 - 2023/11/26 <https://www.zaikei.co.jp/article/20231126/746964.html>

九州大学は 21 日、加齢により筋肉が萎縮し柔軟性も低下する根本的な原因を解明したと発表した。筋幹細胞を活性化する働きがある HGF と呼ばれるタンパク質が加齢によりニトロ化し活性を失うことが、その根本的な原因だという。

研究グループによれば、ニトロ化した HGF の脱ニトロ化の方法を開発できれば、若返りも夢ではないと……

## 林原、「第 25 回トレハロースシンポジウム」を開催、「トレハロースで導くサステナブルな未来」をテーマに最新の研究成果を学術発表

マイライフニュース - 2023/11/15 <https://www.mylifenews.net/health-medical/35684/>

林原は、トレハロースの研究・開発に携わる産官学の関係者が広く参加し、分野の枠を越えて学術的交流を行う研究発表会「第 25 回トレハロースシンポジウム」を、東京・御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンターで 11 月 2 日に開催した。今回のメインシンポジウムは、「トレハロースで導くサステナブルな未来」をテーマとし、トレハロースに関する最新の研究成果などを発表する全 6 題の講演と総合討論会が行われた。また、メインシンポジウム終了後には、4 年ぶりにイブニングセッションが開催され、講演者と参加者がポスター発表を通じて積極的に意見を交わ……

## ヒオウギエキスの紫外線によるシミ発生抑制作用を発見

紫外線による肌への影響に関するメカニズム研究成果

ロート製薬株式会社 - 2023/11/15

[https://www.rohto.co.jp/research/researchnews/technologyrelease/2023/1115\\_01/](https://www.rohto.co.jp/research/researchnews/technologyrelease/2023/1115_01/)

ロート製薬株式会社（本社：大阪市、社長：杉本雅史）は、お客様が日々浴び続ける紫外線による肌への影響について、研究を行っています。紫外線による日焼けはもちろん、シミやソバカス、シワの原因となることが知られており、今回シミ形成のメカニズムに着目したところ、ヒオウギエキスは発生した活性酸素種（以下、ROS）を消去する力が高いこと、また紫外線ダメージにより発現が高まるエンドセリン-1 およびプロスタグランジン E2 を抑制することを発見しました。ヒオウギエキスには、紫外線によるシミ発生を抑制する作用を持つ可能性が示唆され……

## カテキンとフッ化物の相乗作用でむし歯予防効果が向上

MONOist - 2023/11/29 <https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2311/29/news012.html>

東北大学は、カテキンとフッ化物を併用することで、口腔内微生物による酸の産生を効率良く抑制できることを明らかにした。カテキンとフッ化物の相乗作用を利用した、新しいむし歯予防法の開発が期待……

## マクロファージに狙って届ける新カプセルを開発

糖鎖の標識を付けてマクロファージに見つかりやすいカプセルに

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス - 2023/11/27

ポーラ化成工業株式会社

[https://www.pola-rm.co.jp/pdf/release\\_20231127\\_2.pdf](https://www.pola-rm.co.jp/pdf/release_20231127_2.pdf)

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：片桐崇行）は、免疫細胞であるマクロファージに効率的に届く新たなカプセル技術を構築しました。本技術はマクロファージへ働きかける手段としてさまざまな活用が期待され-----

**以下の5件は、一般社団法人日本スポーツ栄養協会 公式情報サイト「スポーツ栄養 Web」掲載記事（2023年11月16日～12月1日）から選定したものです。**

## **子どもの肥満リスク改善に重要なのは摂取エネルギー量と食事時間、運動量、睡眠時間**

<https://sndj-web.jp/news/002511.php> (2023/11/18)

肥満の専門的な治療を受けてる子どもたちを対象に、食習慣、栄養素摂取量、身体活動量、睡眠習慣を調査した結果がスペインから報告された。摂取エネルギー量の過多よりも、食事の時間帯が遅いこと、夕食に分布が偏っていることなどのほうが、肥満の重症度への影響が大きい可能性があるという。また、野菜摂取量や身体活動量との関連も示されて-----

## **唾液中のコルチゾールとテストステロン濃度から、トレーニングのストレスを把握できる可能性**

<https://sndj-web.jp/news/002513.php> (2023/11/20)

唾液検体を用いて測定したコルチゾールとテストステロン濃度により、男性アスリートのトレーニングによるストレスを把握できる可能性を示唆する研究結果が報告された。唾液は医療職者がいなくても非侵襲的に随時採取できるため、生体のリズムやストレス反応を評価するのに有利であり、オーバートレーニング症候群リスクの早期検出などに役立つ可能性があるという。群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学の常川勝彦氏らの研究であり、「Scientific Reports」に論文が掲載され-----

## **生体インピーダンスの位相角が低値の日本人高齢男性は、栄養不良の可能性**

<https://sndj-web.jp/news/002518.php> (2023/11/24)

高齢日本人を対象とする研究から、生体インピーダンスの位相角が体組成や栄養素摂取量と有意な関連のあることや、コリンエステラーゼ値が男性・女性ともに位相角と正相関することが明らかになった。京都府立医科大学内分泌・代謝内科の梶山真太郎氏、中西尚子氏、濱口真英氏、福井道明氏らの研究であり、「Nutrients」に論文が掲載-----

## EPA+中鎖脂肪酸の構造脂質（STG）摂取は、単純な同時摂取よりも持久力を向上する可能性

<https://sndj-web.jp/news/002519.php> (2023/11/27)

EPA や中鎖脂肪酸を構造脂質のかたちで摂取すると、それらの単なる組み合わせとして摂取するよりも、持久力向上のメリットがより大きくなる可能性のあることを示唆するデータが報告された。法政大学大学院スポーツ健康学研究科の越智英輔氏らの研究であり、「Nutrients」に論文が掲載され……

## グルタミンジペプチド添加ホエイプロテインが、骨格筋ダメージを抑制しパフォーマンスを向上

<https://sndj-web.jp/news/002527.php> (2023/11/30)

グルタミンとアラニンという 2 種類のアミノ酸をペプチド結合させたグルタミンジペプチドを豊富に含むホエイプロテインが、トライアスリートの筋損傷を抑制し、パフォーマンスを向上させるとする研究論文を紹介……

[記事のカテゴリ](#)に戻る

## ■ その他の食品関連科学・技術情報

### 生物が食べられる糖の化学合成に成功 高速・低環境負荷・オンサイト生産可能など利点

大学ジャーナルオンライン - 2023/11/22 <https://univ-journal.jp/235816/>

大阪大学と産業技術総合研究所の共同研究グループは、生物が利用可能な糖を化学合成する触媒プロセスの構築に世界で初めて成功した。

グルコースやフルクトースなどの糖は、人を含む全ての生命の活動を支える物質として、また化学品等のバイオ生産技術における基質としても極めて重要である。しかし、従来の一般的な糖の生産プロセスは、水と CO<sub>2</sub> を原料として光合成を行う、つまり多くの水と栄養塩（リン、窒素など）ならびに大面積の土地を要する農業によって作られており、近年の食料需要の高まりやバイオマス利用技術の拡大に伴って、その供給の持続可能性には懸念が持たれて……

### ユーグレナはトマトジュースで培養するとよく育つ！ - 理科大が発見

マイナビニュース - 2023/11/17

<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20231117-2821142/>

## ■ その他の科学・技術情報

### 脳神経科学とテクノロジーを融合した「ブレインテック」の可能性

ウェルネス総研レポート online - 2023/11/30 <https://wellnesslab-report.jp/3089/>

半導体の技術や計測技術の向上、脳信号を処理する機械学習の進化により脳科学が発展し、脳神経科学とテクノロジーを組み合わせた技術「ブレインテック」の市場が拡大しています。医療・ヘルスケアの領域でも注目が高まるブレインテックについて解説しま---

### 三菱化工機と名古屋大学、電界ろ過法を用いた世界初の技術 電界フィルター®「Ele-FilTM」を共同発表

三菱化工機株式会社 - 2023/11/22 <https://www.kakoki.co.jp/news/pdf/p231122.pdf>

三菱化工機株式会社（代表者：田中利一 所在地：川崎市、以下「当社」という）と国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学大学院工学研究科向井研究室（向井 康人 准教授）は、世界初の技術である電界ろ過法を用いた、電界フィルター®「Ele-FilTM」（エレフィル）を、2023年11月22日（水）に共同発表-----

- 内容についての問合せ先：学術情報部 E-mail：[gakuj@jhnfa.org](mailto:gakuj@jhnfa.org)
- 配信元 公益財団法人日本健康・栄養食品協会 <https://www.jhnfa.org/>  
渉外広報室 E-mail：[shogaikouho@jhnfa.org](mailto:shogaikouho@jhnfa.org)
- 配信先の変更など 総務部 E-mail：[kaiin@jhnfa.org](mailto:kaiin@jhnfa.org)

#### ■ 学術誌「健康・栄養食品研究」論文募集のご案内

学術誌「健康・栄養食品研究」への投稿論文を随時募集しております。

当協会の学術誌「健康・栄養食品研究」は、健康食品に関するオープンアクセスオンラインジャーナルです。ヒト試験（介入試験等）以外の論文、研究会の報告、総説なども投稿できます。また、英文での投稿も受け付けております。

最新刊：<http://jhnfa.jp/> [投稿規定などはこちら](#)

投稿先・問合せ先：学術情報部 E-mail：[gakuj@jhnfa.org](mailto:gakuj@jhnfa.org) 電話番号：03-3268-3133

■「健康・栄養食品研究」掲載論文の転載をご希望の方へ

当協会指定の書式に必要事項を記入して、申請頂く必要がございます（料金はかかりません）。なお、販促資料への利用等の商業利用の場合は、申請の条件として「執筆者（又は資金提供者）への内容提示と了解取付」、「転載内容が分かる関連資料の提出」をお願いしております。申請書が必要な方は、学術情報部までご連絡下さい。

問合せ先：学術情報部

E-mail：[gakuj@jhnfa.org](mailto:gakuj@jhnfa.org)

電話番号：03-3268-3133

以上